

記者発表資料
令和4年3月18日
教育庁教職員課
担当：入駒（内線 3635）

国立大学法人宮城教育大学と宮城県教育委員会による「包括的な共創・連携に関する協定書」の締結式を行います。

平成14年に「連携協力の覚書」を締結して協力してきましたが、締結から20年目を迎えるに当たり、激動する教育環境における様々な課題の解決に向けて、共創・連携関係を再構築するため改めて協定書を締結することになりました。

報道関係者の皆様の取材をお願いいたします。

1 日 時：令和4年3月28日（月） 午後4時30分から

2 場 所：宮城県行政庁舎 4階 特別会議室

3 内 容：【包括的な共創・連携に関する協定】

国立大学法人宮城教育大学と宮城県教育委員会が相互に共創・連携し、地域の学校教育及び教員の育成に関する状況、教育現場の要望等を情報共有の上、研究成果の還元や施策の展開等により学校教育・学術の振興及び人材の育成に寄与する環境を協働して構築することを目的とし、共創・連携に関する協定書を締結する。

連携事項は下記のとおりです。

- (1) 教員の養成及び研修に関すること。
- (2) 大学及び学校における教育研究・調査研究での協力に関すること。
- (3) 幼児・児童・生徒・学生に対する学習支援に関すること。
- (4) 大学及び県教育委員会が実施する事業への協力に関すること。
- (5) その他協定の目的に照らして必要と認められる事項に関すること。

4 出席者：【大学側】学長 副学長 等

【県教委】教育長 副教育長 教職員課長 等

5 連携のイメージ：裏面

宮城県教育委員会と国立大学法人宮城教育大学との包括的な共創・連携

「新しい時代を生きる子供たちのために」・・・覚書締結から20年の節目を迎え、様々な課題に対応できる教育人材を育成するために取組を再構築
 教員の資質能力の向上及び教育上の諸課題への確切的対応するため、相互に連携協力して研究・協議を行うとともに、その具体化を図り、その成果を生かして双方の
 教育の充実・発展に寄与することを目的とする。

宮城県教育委員会
Education in Miyagi Prefecture

将来の宮城を担う子供たち一人一人が、夢や志を持ち、その実現を目指してたくましく歩んでいくことができよう、市町村教育委員会や各学校等との連携を図り、学校教育の充実・発展に努めます。

**国立大学法人
宮城教育大学**

社会に対する教員の資質能力向上の期待に応えるため、教員養成の東北の中核大学として確かな指導力と学力、“教育の未来と子どもたちの未来のために”豊かな実践力を持つ教員を養成することを目指します。



- 理論と実践のための環境整備と検証**

 - 実践的課題解決に資する活動場所の提供
- 未来の「教師の卵」への投資**

 - 高大連携事業による公開講座の実施
 - 教師を志す高校生を支援する事業の継続的実施
- 学生の体験の場の提供**

 - 学校での体験ボランティアやインターンシップの実施

- 需要に応じた教員養成**

 - 取得免許種や年齢構成などの需要に対応
- 東北地区での資格等取得促進**

 - 各種講習や資格取得の拠点としての役割
- 教員の資質能力の向上**

 - 大学人材活用による研修の活性化
 - 大学院派遣による資質向上